

2023年度 第1回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2023年4月20日（木）

場 所 豊岡市役所本庁舎3階 庁議室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午前10時00分

閉会時間 午前11時20分

○ 出席委員の氏名

教育長 嶋 公 治

委員（教育長職務代理者） 佐伯 和亜

委員 向井 美紀

委員 飯田 正巳

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局 教育次長 正木 一郎

教育総務課長 木之瀬 晋弥

学校教育課長 寺坂 浩司

学校教育課参事 吉谷 孝憲

幼児育成課長 吉本 努

社会教育課長 旭 和則

教育総務課課長補佐 植田 真美

教育総務課教育総務係長 藤田 祐

事務局以外 こども支援課こども支援センター所長 鳥居 保

文化・スポーツ振興課文化芸術係長 齋賀 真衣

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

飯田 正巳 委員

第2 前回の会議録の承認

2023年3月24日（金）開催 第12回定例会

第3 教育長の報告

第4 観光文化部の報告

1 文化・スポーツ振興課

(1) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第9回おんぷの祭典」について

## 第5 議事

- 議案第1号 豊岡市奨学生選考委員会委員の委嘱について
- 議案第2号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について
- 議案第3号 豊岡市青少年補導委員の任命について
- 報告第1号 教育長が臨時に代理した令和5年度第1号補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて
- 報告第2号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について（豊岡市子どもと心でつながる市民運動推進協議会補助金、豊岡市子ども会連絡協議会補助金）
- 報告第3号 寄附物件の受納について

## 第6 教育委員会事務局の報告

### 1 教育総務課

- (1) 2023年度事務概要等について

### 2 学校教育課

- (1) 生徒指導の状況について
- (2) 令和5年度自然学校の実施について
- (3) 令和5年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について
- (4) 令和5年度修学旅行の実施について

### 3 幼児育成課

- (1) 校区別乳幼児・児童生徒数について
- (2) 2023年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況について
- (3) 2023年度放課後児童クラブの入所状況について

## 第7 こども未来部の報告

### 1 こども支援課

- (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

## 第8 委員活動報告

## 第9 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

---

開会 午前10時00分

(教育長)

ただ今から、2023年度第1回教育委員会会議を開会いたします。本日は在任の教育委員、す

べて出席していますので、会議が成立していることを報告します。

### 【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は飯田委員にお願いしたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

### 【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

続きまして、日程第2 前回の会議録の承認についてです。3月24日に開催しました第12回教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

### 【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回3月24日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

#### 《教育長の報告概要》

4月18日に令和5年度市町組合教育委員会教育長会議が開催され、今年度の全県の教育施策について情報提供があり、意見交換が行われました。主な施策について、次のとおり報告します。

1点目は、学校の働き方改革の視点による、中学校部活動の地域移行の状況についてです。文部科学省は予算88億円を要求していました。協議会の費用や受け皿への費用負担、低所得者層の子どもたちへの支援等を盛り込み、要求していましたが、結果的には11億円の予算になりました。これでは、何も進みません。そして、当初は今年度から3年間を改革集中期間としていましたが、改革推進期間に表現変更されました。後退したと言わざるを得ません。予算11億円の用途は、実証事業を実施するための費用であり、兵庫県の場合は、運動部は11市町、文化部は4市町が実証事業に取り組みます。

各市町は引き続き、地域のスポーツクラブ・スポーツ団体あるいは文化連盟と連絡調整を図り、国の方針を注視しながらどのようなことができるのかを協議会を設置し、検討していただきたいという内容でした。これまでから取り組んでいる方針と大きく変わっていません。

2点目は、不登校対策についてです。豊岡市も不登校が大変大きな課題であり、兵庫県全体も同様です。兵庫県不登校対策協議会を年2回開催される予定です。協議会は、学校や関係団体だけではなく、県民みんなで不登校支援の意識を高めていくための会になります。各地域の教育事

務所では、地域会議を年2回、研修会を年1回開催し、その中で、それぞれの市町の取組や成果、課題についての分析・検証を行っていきます。それぞれの市町には、従来の組織を活用し、不登校対策連絡協議会を設置すること、各校には、不登校対策支援プランを作成し、検証することについて依頼がありました。全県でどのような取組があり、どのような成果が上がっているのかなどの情報を参考にしながら、豊岡市も取り組んでいきたいと考えています。

3点目は、わくわくオーケストラ教室についてです。わくわくオーケストラ教室では、県から3分の1助成金がありますが、例えば、豊岡南中学校から参加すると、個人負担は約3,000円、港中学校から参加すると、子どもの数が少ないため、個人負担は5,000円を超えてしまいます。補助金が出る他の事業を併用して実施しても、豊岡南中学校で約2,000円、港中学校で約4,000円の個人負担がかかります。

また、昨年度はコロナ禍であり、わくわくオーケストラ教室を養父市民交流広場（YBファブ）で実施されています。とても評判がよく、「距離も近いし、よい音楽を身近で聴かせてもらった」という声もあるため、同様に開催してほしい旨を県教育委員会に伝えましたが、養父市までの運送に大変な費用がかかるため、開催は難しいとの回答でした。ただし、補助について、「但馬地域については検討したい」との回答がありましたので、どのようなことが可能なのか、これから詳細が決められていきます。

## 【日程 第4 観光文化部の報告】

(教育長)

それでは、日程第4 観光文化部の報告に移ります。文化・スポーツ振興課 (1) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第9回おんぷの祭典」について、文化・スポーツ振興課文化芸術係長の説明をお願いします。

### 1 文化・スポーツ振興課

#### (1) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第9回おんぷの祭典」について

《文化・スポーツ振興課文化芸術係長》

「おんぷの祭典」では、子どもたちが音楽に触れ合う機会を設けている。今年度9回目となる「おんぷの祭典」は、テーマを「音楽で巡る“東ヨーロッパ”の旅」とし、5月30日(火)から6月4日(日)までの6日間、開催する。

「学校訪問コンサート」は、小学校3校、中学校3校の合計6校で開催する。未就学児を対象とした「子どもたちのためのコンサート」は、例年1カ所で開催していたが、今年度は国府地区コミュニティセンターと弘道地区コミュニティセンターの2カ所で開催する。最終日には例年どおり、子ども向けの「キッズコンサート」を開催する。

各学校園においては、ポスターの掲示と児童生徒宛てのチラシの配布をお願いしている。

また、過去2年はコロナ対策のために、教育委員の学校訪問コンサートの鑑賞をお断りしていたが、今年度は鑑賞いただけるので希望があればお申し出いただきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(佐伯委員)

おんぶの祭典の期間について、トライやる・ウィークと重なっています。トライやる・ウィークに行っている中学2年生はおんぶの祭典の学校訪問コンサートを聴けないと思います。せっかく開催されるので、トライやる・ウィークの生徒も聴けるように配慮していただきたいと思います。

(文化・スポーツ振興課係長)

ご意見ありがとうございます。また実行委員とも協議させていただきたいと思います。

(教育長)

その他、ご質問等ありませんでしょうか。

(委員)

なし

## 【日程 第5 議事】

(教育長)

日程第5 議事に移ります。議案第1号 豊岡市奨学生選考委員会委員の委嘱について、議案第2号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について 及び議案第3号 豊岡市青少年補導委員の任命については、人事に関する議案となりますので、豊岡市教育委員会会議規則第17条により、非公開としたいと考えますが、いかがでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

委員の承認を得ましたので、非公開といたします。傍聴いただいている方は申し訳ありませんが、非公開議案が終了するまでご退席をお願いします。

### ○ 議案第1号 豊岡市奨学生選考委員会委員の委嘱について

#### 【非公開会議】

《 豊岡市奨学生選考委員会規程第3条及び第5条の規定に基づき、豊岡市奨学生選考委員会委員を委嘱することについて、教育総務課長が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された 》

### ○ 議案第2号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について

#### 【非公開会議】

《 豊岡市立学校給食センターの設置及び管理に関する条例第5条の規定に基づき、豊岡市学校給食センター運営委員会委員を任命することについて、教育総務課長が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された 》

○ 議案第3号 豊岡市青少年補導委員の任命について

【非公開会議】

《 豊岡市青少年センター条例第4条の規定に基づき、豊岡市青少年補導委員を任命することについて、社会教育課長が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された 》

(教育長)

以上で非公開議案は終了しました。非公開議案のため退出いただいた傍聴人の方には、お入りいただくよう案内をしてください。

(教育長)

続きまして、議事（報告）に移ります。報告第1号 教育長が臨時に代理した令和5年度第1号補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて、学校教育課参事の説明をお願いします。

○ 報告第1号 教育長が臨時に代理した令和5年度第1号補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて

《 学校教育課参事の説明概要 》

歳出は、まず、子育て世帯生活支援特別給付金支給事業 31,178,000 円である。就学援助世帯特別給付金の支給にかかる費用となる。給付金については、直近の物価高騰に直面する子育て世帯への支援として、就学援助費を受給している世帯、所得が受給世帯と同等の世帯、そして、家計が急変して受給世帯と同等の世帯に対して、児童1人あたり50,000円を給付する。

歳入は、地方創生臨時交付金31,178,000円を計上している。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、令和5年度第1号補正教育関係予算案に関する意見について、教育長が代理執行を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第2号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、社会教育課長の説明をお願いします。

○ 報告第2号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について

《 社会教育課長の説明概要 》

豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、資

料に基づき説明する。

この要綱は、社会教育に関すること、生涯学習の推進に関することの事務について、市長部局で補助執行していた事業の補助金等交付要綱である。組織改編により、2023年4月から教育委員会で直接執行することとなり、改めて要綱を制定する。該当する補助金交付要綱は、豊岡市子どもと心でつながる市民運動推進協議会補助金、豊岡市子ども会連絡協議会補助金の2つであり、交付の目的、内容及び対象経費、対象者、補助率又は補助金等の額などは従来のもと同様である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第3号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

### ○ 報告第3号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体21件、個人9件、合計30件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

今回は、ほとんどが卒業記念品や退職記念品として寄付いただいたものになる。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

静修小学校卒業生一同から掛時計を寄附いただいておりますが、これは静修小学校に掛けているのでしょうか。

(教育総務課長)

統合する日高小学校に持っていき、使用すると聞いています。

(教育長)

その他、ご質問等ありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

## 【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

続きまして、日程第6 教育委員会事務局の報告に移ります。教育総務課 (1) 2023 年度事務概要等について、教育総務課長から順に説明をお願いします。

### 1 教育総務課

#### (1) 2023年度事務概要等について

《教育総務課長の説明概要》

2023 年度事務概要等について、資料に基づき説明する。

教育・保育施設整備等の推進を掲げている。基本方針として、子どもたちの安全・安心を第一に、包括管理の導入や施設の複合化等も検討し効率的な維持管理を図る。また、環境対策、ICT等新たな課題にも対応した教育環境の整備・充実を図る。

概要について、1つ目は、老朽化した空調設備の更新である。出石中学校と八条認定こども園の設備更新を計画している。

2つ目は、長寿命化、大規模改修工事実施設計である。三江小学校は、長寿命化改修工事の実設計を行う。また、竹野小学校・竹野中学校については、小中一貫校整備に向けた基本実施設計を行う。

3つ目は、児童生徒1人1台端末の活用を推進するため、ネットワーク環境の改善、GIGAスクール運営支援センターによるサポート体制の充実を行う。校内の無線LAN環境の改善や、教員向けのサポートや研修を行う。

4つ目は、栄養バランスを確保するための学校給食費のあり方を研究する。本市の学校給食費は、2014 年度以降、据え置いており、今年度についても物価高騰のなか、献立の工夫だけでは賄いきれない部分を公費負担している。栄養バランスの取れた給食を継続して提供するため、学校給食費のあり方を検討していきたい。

5つ目は、学校給食野菜等産地消費率 30%以上を目標に、食物アレルギーへの取組推進を含め、安全安心な学校給食の提供を行う。

続いて、小中学校適正規模・適正配置計画の推進等を掲げている。

今後も少子化が進むことから、子どもたちにとってより良い教育課題を確保するため、2021 年 12 月に豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画を策定した。計画初年度となる 2022 年度については、静修小学校と高橋小学校が3月末に閉校となり、3月 25 日に両校で閉校式を、また 4月 7日に日高小学校と合橋小学校で統合式を執り行った。2校が閉校となり、2023 年 4月 1日時点の市内の小中学校数は 23 校となっている。

基本方針として、学校は地域にとっても思い入れのある大切な施設であるため、計画を一方的に進めることはせず、保護者や地域住民と対話を重ね、丁寧に進めていく。

概要について、1つ目は、計画の推進である。計画に基づき、学校再編の優先順位の高い学校から校區別に説明会を開催する。2025 年度に統合を計画している小坂小学校と小野小学校につ

いて校区説明会を、2027 年度に施設一体型小中一貫校として再編を計画している但東地域の保護者・住民に対して開設に向けた説明会を開催する。

2つ目は、個別の統合協議等の推進である。地区や保護者から計画の推進等について、一定のご理解をいただいた校区に対して具体的な協議を行う。(1)竹野地域での小中一貫校開設準備委員会の開催、(2)福住小学校と寺坂小学校の統合準備委員会の設置、(3)八代小学校の小規模特認校制度導入に向けた調整等、(4)豊岡小学校の分散進学の解消に向けた検討に取り組んでいく。

#### 《学校教育課長の説明概要》

豊岡市における教育の充実を掲げている。現況として、新型コロナウイルス感染症拡大から長期にわたり通常の教育活動を行うことができない中、ICTの効果的な活用や学校行事の工夫など、創意工夫を図りながら日々の教育活動を展開している。

基本方針を3点挙げている。

1点目は子どもたちの発達段階や多様なニーズを踏まえて、幼児教育から小・中学校までの接続を重視しながら、「あたまの力」「こころの力」「からだの力」をバランスよく育成し、「生きる力」を育む。

2点目は子どもたちの多様な学びに対応するための教職員一人一人の資質・能力の向上、チーム学校として取り組む組織づくり、安全・安心な教育環境の整備を図る。

3点目は子どもたちが安心できる家庭環境に関する環境づくり、地域全体で家庭環境を支える仕組みづくりを支援し、学校・家庭・地域が連携・協働した教育を推進する。

主な概要について、1つ目は、非認知能力向上のための取組の推進である。昨年度、全市内の小学校1年生で演劇ワークショップを実施し、今年度は一部の小学校2年生でも本格的に取り組み、拡大していく。

2つ目は、不登校対策の充実である。今年度は特に、子どもたちの多様な学びの場の構築を重要なことと捉えている。関係機関や民間企業、その他には一般財団法人ロートこどもみらい財団との多様な学びの場の構築に向けた包括連携協定締結も踏まえ、できる限りの対策を考えていきたい。

3つ目は、学校における働き方改革の推進である。今年度の早い時期に、豊岡市「学校における働き方改革」推進方針の次期方針を策定していきたい。

4つ目は、「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な実施である。今年度は、各中学校で1校、コミュニティ・スクールを導入することを進めている。地域の方々の力を活用し、どのような取組ができるのか、また学校の取組を全市に広げながら取組を推進していきたい。

#### 《幼児育成課長の説明概要》

就学前の教育・保育の充実を掲げている。基本方針としては、第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、就学前の教育・保育及び子育て支援事業の充実を図るとともに、待機児童解消対策を進める。また、「スタンダード・カリキュラム」活用の手引きを活用しながら、子どもに寄り添った就学前の教育・保育の推進と幼児期の運動遊び・英語遊び保育など豊岡の特色ある取組を進める。

概要について、1つ目は待機児童解消対策の推進である。2021年2月に豊岡市における幼児

教育・保育及び放課後児童のあり方計画を策定した。この計画に基づき、各年度、事業を推進しており、今年度は私立保育園の新規私立認定こども園への移行として、蓼川保育園の施設整備を進めている。施設整備は、昨年度からの2カ年事業の後年度分になる。

そして、放課後児童クラブの専用施設化に向けた改修である。1つ目は新田放課後児童クラブであり、3月31日をもって閉園した新田幼稚園舎を活用し、放課後児童クラブの専用施設とするため、今年度、トイレ改修を中心とした改修工事を行う。2つ目は日高地域の放課後児童クラブである。今年度末に閉園予定の日高幼稚園を活用し、放課後児童クラブの専用施設として用いる予定であり、今年度、トイレ改修を中心とした実施設計を行う。

2つ目は就学前の教育・保育の充実で、(1)質の高い就学前の教育・保育の推進である。2022年2月に策定した第2次スタンダード・カリキュラムと2022年11月に策定したスタンダード・カリキュラム活用の手引きを基に、保育を実践することにより、幼稚園・保育所・認定こども園のいずれの園においても同等の質の幼児教育・保育を推進していきたい。

(2)運動遊び・英語遊び保育の推進である。豊岡の特色ある取組として、今後も引き続き、子どもの実態に合わせて内容の充実に努めながら、幼児期の運動遊び・英語遊び保育を推進していきたい。

#### 《社会教育課長の説明概要》

日々人生を楽しむまちづくりの推進として、大きく基本方針を3つ掲げている。1点目は社会教育基本計画（仮称）の策定、2点目は多様な学習機会の充実と読書活動の推進、3点目は家庭・地域の教育力の向上と青少年健全育成の推進である。

概要について、1つ目は社会教育基本計画（仮称）の策定である。超高齢化社会を迎え、人が心豊かに生き生きと生活するために、その時期・状況に応じた課題を自らが把握し、学習していくことが重要である。これまで、市として、そうした社会教育に関する方向性を示していなかったため、今回、新たに推進に関する基本方針を策定する。

2つ目は多様な学習機会の充実と読書活動の推進である。(1)生涯学習サロンでの講座を活用した市民の生涯学習活動を推進、(2)障害者の社会自立を目指した学習機会を提供であり、くすの木学級・青い鳥学級の2つの学級の運営を支援したい。(3)電子書籍の導入と図書館サービスを充実・拡充し、読書活動を推進である。

3つ目は家庭・地域の教育力の向上と青少年健全育成の推進である。(1)子どもと心でつながる市民運動推進協議会による取組の推進、(2)青少年健全育成推進活動の充実、(3)青少年補導委員を中心に地域で守り育てる活動の推進であり、夜のパトロール、昼のパトロールを補導委員にお願いし、地域での活動を推進していきたい。(4)子ども会、PTA等の活動支援である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

1つ目は、教育総務課の事務報告について、「概要2 (3)八代小学校小規模特認校制度導入に向けた調整等」とありますので、しっかり対応してほしいと思います。地域の方の中には「八代小学校の未来を考える会での役を降りれば、もう考える会の役員ではない」という声を聞きます

ので、その辺はきっちりと抑えて調整していただきたいと思います。

2つ目は、学校教育課の事務報告について、「概要9 不登校対策の充実」とありますが、最近も新中学1年生で、学校に来ていない生徒がいると聞きました。状況を聞くと、小学校のときに先生との関係がうまくいなくて、6年生の2学期から学校に来られなくなり、中学校に入っても毎日に来ていないということでした。中学校に入れば、先生も環境も変わるのに来れる日と来れない日があるそうです。個々にカウンセリング等、対応していただいていると思いますが、そうしたことについても、ぜひ組織的に進めていただければと思います。

また、幼児育成課の事務報告について、「概要1 待機児童解消対策の推進」とあります。待機児童の現在の状況を教えてください。

(幼児育成課長)

4月1日の入所時点で見ると、待機児童は2人です。1人は徒歩でしか通園できないという理由により、近隣の園を希望されており、現在待っていただいています。もう1人は、3月末に申し込まれて、希望の園が満員のため、現在待っていただいています。

(飯田委員)

すべてを解消することはなかなか難しいですね。

(教育総務課長)

八代小学校小規模特認校制度導入に向けた調整等について、今回、八代小学校の未来を考える会から提出された実施計画の内容においては、基本的に地区が責任を持って主導していく内容となっていましたので、そのことを基本としつつ、しっかり調整等に取り組んでいきたいと思えます。

(教育長)

八代小学校の未来を考える会の人たちの意識と地域の人たちの意識において、異なる点はあると予測されますので、その辺を意識して進めていく必要があります。地区が「小規模特認校を導入したので、あとのことは知らない」というふうにならないかという危機感を持ちながら、なかにはそういうふうを考える人がいると思えますけれども、中心となって進める人たちがそうした考えにならないよう、しっかり調整等していきたいと思えます。

(学校教育課長)

不登校対策の充実について、新中学1年生に向けての不登校者数は減少していない状況があります。これまでから取り組んでいる小中の引継ぎ連携システム「アプローチ&スタートカリキュラム」について、効果があった事例や課題を横のつながりの中で、市内全域で共有しながら、効果があった取組をすべての学校に広げていき、不登校対策の充実を図っていきたいと思えます。

(教育長)

その他、ご質問等ありませんでしょうか。

(向井委員)

八代小学校の保護者のうち、特に小学校1・2年生の保護者は八代小学校小規模特認校の導入について、新聞記事で初めて知ることになり、戸惑いとともに不安、不満を感じておられます。保護者としてはもう一度アンケートを取ってくれると思っておられたようです。保護者へのフォローが必要だと思います。

(教育長)

飯田委員と向井委員が話されたことについては、教育総務課で整理して、八代小学校の未来を考える会に伝えてもらい、直さなければならないことは直していただきたいと思います。なお、教育委員会としては、小規模特認校導入は就学前も含めた八代地区の保護者と住民の総意だと聞いており、地区の意思を尊重したことが大前提になっているため、方針を決めました。

また、保護者が新聞を見て導入の事実を初めて知ったのであれば、教育委員会の進め方としては至らなかったと考えます。

(佐伯委員)

教育総務課の事務報告の「概要2 (4)豊岡小学校 分散進学の解消に向けた検討」については、解消に向けた検討が始まるということでしょうか。

(教育総務課長)

例年、5月上旬に新しいPTA役員が決まりますので、決まった時点で調整していきたいと考えています。以前もPTAの保護者にアンケートを取りましたが、少し月日が経っていますので、改めてアンケートを取るなどし、PTAの中での合意を目指していきたいと考えています。

(教育長)

続きまして、学校教育課からの報告に移ります。(1)生徒指導の状況について、学校教育課長の説明をお願いします。

## 2 学校教育課

### (1) 生徒指導の状況について

《学校教育課長の説明概要》

生徒指導の状況について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(2) 令和5年度自然学校の実施について、学校教育課長の説明をお願いします。

## (2) 令和5年度自然学校の実施について

《学校教育課長の説明概要》

令和5年度自然学校の実施について、資料に基づき説明する。

現時点では、活動等が変更になる可能性は多分にあるが、一番早い学校で、5月22日から5日間の実施になる。泊数・日数については、市内全域で3泊5日を基本にし、昨年度より1泊増やす予定で進めている。教育委員の皆さんには視察いただく予定である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(3) 令和5年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について、学校教育課長の説明をお願いします。

## (3) 令和5年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について

《学校教育課長の説明概要》

令和5年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について、資料に基づき説明する。

事業所数は現在調整中のため、今後増減する場合がある。5月29日から6月2日までの5日間、各校で実習する。

トライやる・ウィークについても、教育委員の皆さんに視察いただく予定である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(4) 令和5年度修学旅行の実施について、学校教育課長の説明をお願いします。

## (4) 令和5年度修学旅行の実施について

《学校教育課長の説明概要》

令和5年度修学旅行の実施について、資料に基づき説明する。

一番早い学校では、5月11日から修学旅行を実施する。小学校は1泊2日、中学校は2泊3日で計画しており、中学校の行き先では昨年度より東京方面が増えている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(佐伯委員)

小学校の修学旅行の行き先は広島県に行き、平和と命の大切さについて勉強するイメージがあります。行き先が広島県以外の学校は、授業等でそのことを勉強するということでしょうか。

(学校教育課長)

平和学習は非常に重要な学習ですので、授業等でそうした取組を行うことを聞いています。

(佐伯委員)

現地の広島県に行き、そこで平和と命の大切さについて勉強することは大事だと思いますので、できれば広島県に行き、現地で勉強することがよいのかなと思います。

(教育長)

その他、ご質問等はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、幼児育成課からの報告に移ります。(1) 校区別乳幼児・児童生徒数について (2) 2023 年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況について 及び(3) 2023 年度放課後児童クラブの入所状況について、幼児育成課長の説明をお願いします。

### 3 幼児育成課

#### (1) 校区別乳幼児・児童生徒数について

《幼児育成課長の説明概要》

校区別乳幼児・児童生徒数について、資料に基づき説明する。

資料では、住民基本台帳データにより、各小学校区別に乳幼児数、児童数、生徒数を集計している。それぞれの人数で右肩下がりの傾向が顕著になっている。現在 14 歳児の、中学校 3 年生が 728 人に対して、現在 0 歳児は 404 人であり、324 人減っており、44.5%減になる。将来の展望を考えると、児童生徒数の減少を大きな課題と認識し、対応については様々な角度から検討する必要があると思っている。

#### (2) 2023年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況について

《幼児育成課長の説明概要》

2023 年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況について、資料に基づき説明する。

今年度の幼稚園の園児数は 68 人で、昨年度と比較し、40 人減となっている。内訳として、4

歳児が4人、5歳児が36人の減である。クラス数も昨年度12クラスだったが、今年度は7クラスで、5クラス減となっている。園児数の少ない豊岡幼稚園と五荘奈佐幼稚園は、4歳児・5歳児の混合保育になる。寺坂幼稚園は、昨年度に引き続き、今年度も休園となる。

保育所・認定こども園の児童数は、2号・3号認定児、いわゆる保育認定児は、他市等からの委託児12人を含め、合計2,014人である。昨年度が2,048人のため、34人の減となっている。また、1号認定児、いわゆる教育認定児は131人である。昨年度が145人のため、14人の減となっている。

### (3) 2023年度放課後児童クラブの入所状況について

《幼児育成課長の説明概要》

2023年度放課後児童クラブの入所状況について、資料に基づき説明する。

放課後児童クラブの利用者数は今年度が1,332人で、昨年度は1,369人であり、比較すると、37人の減となっている。内訳としては、小学生が1,295人、幼稚園児が37人である。小学生は昨年度から18人の減となっているが、全児童数3,757人のうち34.5%の児童が放課後児童クラブを利用している状況である。利用率は、昨年度と比べて0.8ポイントの増となる。

地域別で見ると、豊岡地域は利用率の多い順だと新田の児童クラブが49%、中筋の児童クラブが44.4%と続いている。但東地域は資母の児童クラブが41.2%と高い。豊岡市全体で見ると、出石地域の利用率が非常に高い。福住の児童クラブが76.3%、寺坂の児童クラブが69.2%となっている。約7割が児童クラブに通っている状況である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

これで各課からの報告を終了します。

### 【日程 第7 こども未来部の報告】

(教育長)

続きまして、日程第7 こども未来部からの報告に移ります。こども支援 (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

#### 1 こども支援課

##### (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

豊岡市こども支援センター活動状況報告について、資料に基づき説明する。

こども支援センターは、3つの機能を持っている。不登校の取組、特別支援の取組、家庭児童相談の取組である。

不登校の取組状況は、通級児童生徒数が増加した。増加の理由については、コロナによる行動制限が昨年度の下半期は緩和されたこと、こども支援センターが通級施設としてより一層認知されてきたこと、11月1日からアイティ7階に移転し、立地条件のよさが関係していることが考えられる。

それから、不登校については、相談全般で、中学校2年生の利用が増加した。昨年度だけの特徴かもしれないが、昨年度は全相談件数46件中15件が中学校2年生の相談である。全相談件数の32.6%が中学校2年生の相談であった。月別で見ると、顕著に2月と3月に相談件数が多かった。2月は中学校2年生の相談は6件、3月は中学校2年生の相談は4件であり、進路への不安が表れていると感じている。

特別支援の取組状況は、電話相談及び来所相談については年々件数が多くなってきている。2022年度は電話及び来所の相談実数252件、延べ801件と、件数が跳ね上がっており、実支援人数は411人で、実支援人数もこの3年間増加傾向にある。発達特性に関する意識の高まりが伺える。「まずは一度相談してみよう」という意識が高まっているのではないかと考える。特に担当者が気にしていることに、ゲームのことがある。相談する中には、ゲーム依存ではないかと思われるようなケースもあったと聞いている。これはコロナ禍の影響があるのではないかと感じている。

家庭児童相談の取組状況は、虐待通告件数については半減したが、依然、相談件数は多く、内容も深刻なものが多い。関係機関との連携強化や通告をためらわない意識を高める呼びかけを継続していく必要がある。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

## 【日程 第8 委員活動報告】

(教育長)

続きまして、日程第8 委員活動報告に移ります。

(佐伯委員)

出石幼稚園と田鶴野小学校、日高東中学校の入園式・入学式に出席しました。いずれの学校園でも、子どもたちは生き生きと笑顔で、元気に入場していました。新入生はマスクを着用していない学校が多く、よかったですと思います。児童生徒がマスクを着用せずに校歌を歌っている学校もありましたので、通常に戻ってきているなど感じました。教育委員会の告辞について、学校の壁等に掲示したり、しおりの中に挿入したりしておられました。学校によってはPTA会長が祝辞をしているところがありましたので、教育委員会の告辞についてもそろそろ通常に戻してもよいのではと思いました。

(向井委員)

私立のチャイルドハウスこども園の入園式に行かせていただきました。私立保育園の雰囲気は初めて経験することができました。0歳児から3歳児まで約60人の子どもたちが入園式に参加していて、大変賑やかでした。先生から「入園時期は違っていても、いずれの子どもにも一度は入園式というものを経験してもらいたいとの思いから、すべての子どもに出席してもらっている」とお聞きしました。先生方は皆さん笑顔いっぱい、歓迎の劇で園児たちを迎えておられました。

園には現在200人近くの子どものお入り、もちろん先生方もたくさんおられますので、園庭も各部屋もどこを見渡してもすごく密な状況でした。これだけの小さな空間に、こんなにもたくさんの子どものいる状況に驚きましたが、子どもたちは機嫌よく遊んでいました。また人数が多いので、事故等が起こらなければよいと心配にもなりました。

理事長は「五荘奈佐幼稚園が私立認定こども園に移行するのが2030年度ですが、時期を早めてほしい」と希望されていました。私も実際に現場を見て、移行の計画を早めたほうがよいのではないかと思いました。

また、入園式の日には4・5歳児がいなかったため、先生に聞くと、「全員が一緒にいるとトラブルが多くなるため、別の場所に移動している」と話されていました。4・5歳児は体も大きく、人数も多いので、トラブル防止のために「今日は5歳児はバスに乗って、大岡学園に行く」などのプログラムも組まれており、いろいろと工夫をされています。一日も早く五荘奈佐幼稚園の園舎は大きいので、そのような広い施設で保育をしたほうがよいと思いました。

それから、若いお母さんから「今年度は市立の認定こども園では入園式がなかった」とお聞きしたのですが、どのような理由で入園式はなかったのでしょうか。

(幼児育成課長)

継続して利用する園児がいますので、入園式という形ではなく、新規に入る園児のために名前を変えて「はじめましての会」として実施しています。「はじめましての会」では、若干、入園式とはプログラムが違いますが、同じようなことを実施しています。

(向井委員)

入園式がなく寂しいと残念に思っているお母さんたちもおられます。それぞれの子どもにとっては初めての経験であり、入園式に出席することははじめの意味もあると思います。

(飯田委員)

三方小学校と港中学校の入学式に行かせていただきました。かつて、三方小学校は日高地域の中でも2番目に大きな学校で、1学年約3クラスありましたが、今年度の新生が14人であり、驚きました。港中学校も新生が9人で、本当に子どもが減少したと改めて実感しました。しかし、入学する子どもたちの姿を見て、非常に頼もしく思いました。小学生も中学生もきらきらと目を輝かせながら、夢に向かっていく気迫を感じることができ、とても嬉しく思いました。私たちも毎年同じようにするのではなく、一つ一つのことに對してきっちり対応していかなければならないと勉強させていただきました。

港中学校の入学式の来賓紹介の際に「おめでとうございます。中学校3年間は人生の礎を築く大事な期間です。夢に向かって、大いに羽ばたいてください」とお祝いの言葉を述べさせていた

できました。中学生たちの「頑張ろう」という気迫を肌で感じることができ、とても嬉しく思いました。

## 【日程 第9 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第9 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

### 1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第2回定例教育委員会会議は、5月17日（水）午前9時30分から、本庁舎2階大会議室で開催する。

### 2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんでしょうか。

それでは、次回の教育委員会会議は、5月17日（水）午前9時30分から、本庁舎2階大会議室で開催します。

これをもちまして、第1回教育委員会会議を閉会いたします。

---

閉会 午前11時20分

---

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2023年4月20日

教育長

委員